

水素・燃料電池開発支援セミナー年間計画（案）

◎考え方と進め方

1. 考え方

期間中 1回／月のセミナー開催を実施し、燃料電池事業参入や普及を進めるのに必要なテーマが一通り配置されているようにする。

2. 進め方

- ①前半は導入的知識を中心に。すなわち、燃料電池とはどのようなものか？（大分類A）
そして、その社会的背景、技術的&市場動向などを紹介するものに（大分類B）。
- ②後半は燃料電池事業参入のための技術ニーズを探るものに。すなわち、
技術的課題や要素技術（どのような部材、部品、加工技術が必要か
そして、その仕様は、規格はといったこと等）が把握できるようにする。（大分類C）
- ③但し講師手配等の都合により、開催テーマが前後したり差し替えたりすることが有る。

大 分 類 個 別 テ ー マ	実施済ないし実施予定セミナー 計画中テーマと講師候補
<p>A. 燃料電池とは？ (種類や基本構成等)</p> <p><u>A-1. PEFC</u> ①家庭用 ②FCV ③MEA開発(触媒・膜等) ④基本的なしくみや構成等 ⑤評価・解析</p> <p><u>A-2. SOFC</u></p> <p>B. 社会的背景 (市場動向・需要／普及・水素社会・インフラ・行政施策等)</p> <p><u>B-1. 市場動向・需要／普及</u></p> <p><u>B-2. 水素社会</u> ①インフラ ②製造・貯蔵・運搬・供給</p> <p><u>B-3. 行政施策</u></p> <p>C. 事業化・開発の対象となる 技術ニーズ</p> <p><u>C-1. 要素技術</u> (コンポーネント部品・部材とその仕様・規格、加工技術等)</p> <p><u>C-2. 今後の技術課題</u></p>	<p>第1回(5月29日) 「家庭用を中心とした燃料電池とその将来動向」 パナソニック(株) 小原英夫氏</p> <p>第2回(6月30日) 山梨大学教授 内田誠氏 「HiPer-FCプロジェクトにおける高性能・高耐久PEFCのためのセル材料の研究開発」</p> <p>第3回(7月29日)産技研 西村崇氏 「燃料電池の構成と評価方法」</p> <p>第4回(8月29日) ㈱富士経済 鷹羽 毅氏 「燃料電池でつながる水素コミュニティマップ」</p> <p>第5回(9月26日) 市工研 丸山 純氏 「燃料電池における電気化学反応と電極材料の重要性について」</p> <p>第6回(10月23日)本田技術研究所 4輪R&Dセンター 上席研究員 守谷 隆史氏) 「Hondaにおける燃料電池電気自動車の開発と水素社会に向けて」</p> <p>第7回(11月20(木))岩谷産業(株)産業ガス・機械技術事業本部 ガス技術開発部 マネージャー 中島 康広氏 「岩谷産業における水素インフラ技術について」 (液化水素製造技術及び水素ステーションへの取り組み)</p> <p>第8回(12月15日(月)):マイドームおおさか8F第6会議室) 大阪ガス株式会社 リビング事業部 商品技術開発部 SOFC開発チーム リーダー 檜垣 勝己氏 「大阪ガスにおける家庭用SOFCコージェネレーションシステムの開発と普及拡大に向けた取り組みについて」</p> <p>第9回(1月21日(水))マイドームおおさか8F第6会議室) 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) イノベーション推進部 統括主幹 村越正毅氏 「NEDOのベンチャー・中小企業の研究開発支援について」</p> <p>第10回(2月18日(水))マイドームおおさか8F第6会議室) 大阪府商工労働部 成長産業振興室 新エネルギー産業課 課長補佐 山本 陽介氏 「大阪府におけるFCV及び水素ステーションの取組みについて」</p> <p>第11回(3月11日(水))マイドームおおさか8F第6会議室) サムテック株式会社 高圧ガス容器部 次長 東條 千太氏 「水素ステーション用複合蓄圧器の開発」</p>
<p>————— (講演における主要テーマ)</p> <p>- - - - - (講演における副次テーマ)</p> <p>————— (計画中テーマ)</p>	